

第3次熊本市食の安全安心・食育推進計画

「食育の推進」の進捗状況について

「食育の推進」については、推進計画における4つの視点

- ① 全ての市民の食育への理解の増進
- ② 健全な食生活が実践できる環境整備
- ③ 市民運動としての食育の推進
- ④ 「くまもとらしさ」を活かした食育の推進
に基づいてさまざまな事業を展開した。

令和元年度（2019年度）の取り組み

- ① 全ての市民の食育への理解の増進（P2～5）

乳幼児期の食育の推進は、ほとんどの保育所等において体験型食育活動の取組が実施され、体験を通して食について学ぶ機会の充実が図れた。

食の乱れが顕著な若い世代に対しては、自身が食生活の重要性を認識し、実践に必要な知識を持てるよう、大学と連携した食育実践講座を開催し、令和元年度は開催数が大幅に増加した。

- ② 健全な食生活が実践できる環境整備（P6～9）

食品表示法による加工食品への栄養成分表示の義務化に伴い、その活用についての市民啓発及び食品関連事業者等への研修会を開催し、整えられた環境を市民自身が健康づくりに生かすことを目指し啓発を行った。

市民の野菜摂取拡大に向けた取組として、食品関連事業者へのポスターの提供等、事業者の食育活動を支援した。また、野菜摂取量増加のための教材として、食の安全安心・食育部会メンバーの方々へレシピ提供をお願いし「みんなの野菜レシピ」を作成した。

- ③ 市民運動としての食育の推進（P10～13）

食育の機運の醸成ため、市民健康フェスティバルや農産物フェア等、各団体や行政が協力して様々なイベントの機会を通して食育の啓発に取り組んだ。また、ラジオやSNSを通しての全市的な食育の広報に、積極的に力を注いだ。

また、子どもの食育推進ネットワークの活動として、朝食摂取と共食をテーマに取り組み、啓発資料を作成し幼児健診の場で配付し説明を行い、多様な生活スタイルの中で食育のあり方を周知した。

- ④ 「くまもとらしさ」を活かした食育の推進（P14～17）

学校給食での市産品の使用率や、農産物直売所の販売額の増加等、地産地消の取組について成果がみられた。

また、熊本市食生活改善推進員協議会が平成17年から継続実施している県立第二高校での郷土料理の調理実習は、若い世代への食育の推進と食文化の伝承に関わる重要な活動である。

令和2年度（2020年度）の重点的に行う取り組み

新型コロナウイルス感染症の拡大により、食育の推進については、調理や試食を伴うイベントや講座の中止、共食の場面での感染防止対策の徹底など、様々な影響を受けている。反面、家庭での食事や中食の利用等の機会が増加しており、市民が健全な食生活の推進ができるよう、熊本市食のホームページや、熊本健康アプリ等のSNSを活用し、栄養に関する表示の活用についての周知や、レシピや食育情報の発信を行い、コロナ禍における家庭での食育を重点的に推進する。また、食品関連事業者との協働で、消費者に向けて店舗等での食育情報の発信を強化する。

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

施策の方向性		(1)家庭における食育の推進	H30	R1	R5
			基準値	実績値	目標値
検証指標項目	①	食育に関心がある市民の割合	77.1%	-	90%
	②	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加 ※1週間のうち朝食又は夕食を家族と一緒に食べる回数	9回	-	現状維持
取り組むべき施策		1) 「食卓」の重要性についての啓発			
		2) 食を楽しむことについての啓発			
		3) 男女共同参画による食育の推進			

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R1の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	結婚・子育て応援サイト	サイト内で妊娠期、乳幼児期の健康や食事に関する情報の提供	実施	アクセス数 3,349,213件	・サイト内で、食事に関するQ&Aを5項目掲載	継続実施	子ども政策課
2	乳幼児パパママ教室	保育所、幼稚園、子育てグループ等へ講師を派遣し、家庭教育についての学習機会の提供	実施	派遣回数 3回	・「子育てと食生活」のテーマで講師登録されている管理栄養士を派遣。離乳食の話が中心で、個別の質問にも対応	継続実施	子ども支援課
3	乳児のための食育講座	育児サークルや子育て支援センター等で、離乳食の進め方等について講話を実施	実施	79回 624人	・育児サークルにおいて離乳食の進め方等について講話を実施 ・子育て支援センター主催の講座において試食を伴う離乳食講座の実施	継続実施	各区保健子ども課
4	幼児のための食育講座	育児サークルや子育て支援センター等で、幼児期の食生活やおやつとの与え方について講話を実施	実施	19回 179人	・育児サークルや公民館主催講座において、幼児期の食生活やおやつとの与え方について講話を実施	継続実施	各区保健子ども課
5	育児相談	乳幼児の健康、食生活、歯科について相談を実施	参加者数 3,161人	4,138人	・保健子ども課育児相談	継続実施	各区保健子ども課
6	妊産婦健康相談	親子(母子)健康手帳交付時、妊娠期、授乳期の食生活について相談を実施	参加者数 3,293人	3,055人	・親子(母子)健康手帳交付時、妊娠期、授乳期の食生活について相談を実施	継続実施	各区保健子ども課
7	妊婦健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 98.6%	98.68%	・委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	100%	子ども政策課
8	妊婦一般健康診査事後指導	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	フォロー率 100%	100%	・健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	100%	子ども政策課 各区保健子ども課
9	3か月児健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 98.0%	99.15%	・委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	100%	子ども政策課
10	7か月児健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 96.0%	96.74%	・委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	100%	子ども政策課
11	3・7か月健康診査事後指導	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	フォロー率 100%	95.38%	・健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	100%	各区保健子ども課
12	1歳6か月児健康診査	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	受診率 98.0%	97.74%	・健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	100%	子ども政策課
13	3歳児健康診査	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	受診率 97.1%	96.87%	・健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	100%	子ども政策課
14	乳幼児経過観察健診	子どもの発育・発達状況に応じた指導を実施	受診率 72.2%	75.3%	・子どもの発育・発達状況に応じた指導を実施	100%	子ども政策課
15	保育所給食見学	楽しく食べることの重要性や方法を、親子での保育体験を通して、給食見学から学ぶ	実施	年間5回程度	・総合子育て支援センターでは、保育体験と給食体験の時間を分けて実施。各支援センターも方法は違いますが年間計画に沿って実施	継続実施	子ども支援課 子育て支援センター
16	小児生活習慣病予防検診	肥満度20%以上の小学4年生に対し、検診と保護者への指導を実施 (評価指数:肥満度20%以上の児童の割合)	小学生 7.7% 中学生 8.0%	小学生 8.2% 中学生 8.6%	・肥満度20%以上の小学4年生に対し、検診と保護者への指導を実施 (評価指数:肥満度20%以上の児童の割合)	減少	健康教育課

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R1の取組・事業内容	R5目標値	担当課
	育児教室	4～5か月の子を持つ保護者に対して、離乳食の進め方や発育についての講座を実施	休止中				子ども政策課 各区保健子ども課
	もうすぐパパママ教室	妊娠期、授乳期の食生活や生活習慣等について講座を実施	休止中				子ども政策課 各区保健子ども課
	ピカピカカミカミ教室	幼児期のむし歯予防のための、ブラッシング、食習慣、おやつについて講座を実施	休止中				子ども政策課 各区保健子ども課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	熊本市子ども文化会館歯科健康講座：5月15日実施 乳幼児と保護者26組参加 ・講話「むし歯ゼロの子育てを始めよう!」、仕上げ磨き実技指導。	熊本県歯科衛生士会
2	熊本市PTA創立70周年記念研究大会講演会の開催：11月23日実施 約900名参加 ・演題「笑顔がいちばん ビミョーなお年頃は胃袋をつかめ!」でバランスのとれた食生活の大切さについての講演を実施した。 ・講師 タレント 長船なお美氏	熊本市PTA協議会
3	赤ちゃん訪問時や、子育てサークル開催時に、離乳食及び食育について、随時情報提供を実施。	熊本市民生委員 児童委員協議会

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

* H29年実績値

施策の方向性	(2)生涯にわたる食育の推進	* H29年実績値			
		H30 基準値	R1 実績値	R5 目標値	
検証指標 項目	③ 1週間あたりの朝食について ※幼児は「毎日食べる割合」、 他は「ほとんど食べない」と答えた割合	幼児	97.3%	-	100%
		小学5年生	1.7%	-	0%
		中学2年生	4.2%	-	0%
		若い世代【20,30歳代】	18.5%	-	10%以下
		65歳以上	3.4%	-	0%
	④ 体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【保育所等】	公立	* 100%	100%	100%
		私立	* 87.2%	90.2%	
	⑤ 体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【幼稚園等】	公立	* 100%	100%	100%
		私立	* 100%	100%	
	⑥ 授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合		* 94.0%	97.0%	100%
⑦ 企業、大学等での食育に関する講座の開催(件数)		* 20件	47件	30件	
取り組むべき 施策	4) 子どもの頃からの体験を通じた食育				
	5) 保育所・幼稚園・学校等における食育の推進				
	6) 若い世代や働きざかりに対する食育の推進				
	7) 高齢者に対する食育の推進				
	8) 給食を活用した食育の推進				

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R1の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	保育所での体験型食育	園庭や畑等での栽培活動、給食準備の手伝い、クッキング体験等を実施	実施率 93.0%	実施率 公立100% 私立90.2%	・栽培、収穫体験や収穫物によるクッキング等を実施(切干大根作り、災害への備えとしてバッククッキング体験等)	100%	保育幼稚園課
2	保育所給食における展示食の実施	日々の給食内容を保護者に知らせ、保護者の給食への関心の高め、食について親子での会話を促す	実施率 76.5%	実施率 公立100% 私立75.6%	・実物を展示し、必要量や切り方、食材の大きさ等を啓発 ・おやつも展示し、捕食量を提示	85%	保育幼稚園課
3	「食育だより」の発行	献立表と一緒に、毎月「食育だより」を家庭に向け発信し、食育を推進	実施率 93.4%	実施率 公立100% 私立92.7%	・熊本市保育所食育推進年間計画に基づき、月毎のテーマ及び食育目標に沿った内容で情報を発信 ・臨時食育だよりの発行(主食量調査結果等)	100%	保育幼稚園課
4	保護者の保育参観	保育所給食の試食と、保育所給食についての説明等を実施	実施率 79.3%	実施率 公立100% 私立74.8%	・保育参観日に、給食栄養士による講話を実施	85%	保育幼稚園課
5	●検証指標 大学生等のための食育実践講座	食生活の乱れが著しい世代に対して、大学等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	43回 2,432人	・尚絅大学、崇城大学の新生を対象とした食育講座、熊本保健科学大学での食育の啓発や実習生への食育講座 ・市立総合ビジネス専門学校1年生を対象とした食育実践力アップ調理実習の開催(2回) ・第二高校、千原台高校生を対象とした郷土料理講習会の実施	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課
6	●検証指標 働きざかり世代のための食育実践講座	メタボリックシンドロームが増加する世代に対して、職域等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	4回 113人	・西区役所に勤務する職員を対象に食育実践講座を実施。働き盛りの食事の注意点について、特に昼食を購入する際、中食の選び方について講話を実施 ・植木温泉観光旅館組合、市職員組合北区支部女性部学習会、植木町商工会女性部へ健康経営を含む食育講座を実施	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課
7	高齢者のための食育実践講座	フレイル対策等のための、望ましい食生活の進め方について講話を実施	実施	32回 586人	・高齢者サロンやくまもと元気くらぶを対象にフレイル予防のための食生活について講話を実施	継続実施	各区保健子ども課

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R1の取組・事業内容	R5目標値	担当課
8	介護予防教室	低栄養予防、食生活改善のための健康教育等を実施 啓発パンフレットの作成と配付	実施回数 1,249回	1,662回	・高齢者サロンやくまもと元気くらぶを対象にフレイル予防のための健康教育等を実施	継続実施	高齢福祉課
9	「食育の日」の実践と食に関する指導資料集の作成	市産品を使用した献立を実施し、指導のための資料集の作成と、全校への配付	実施	実施	・食育の日を「ひごまるデー」という名称で設定し、熊本市産品を活用した献立を実施。食育資料集の小学校版、中学校版を作成し、全小中学校が指導に活用できるようにしている	継続実施	健康教育課
10	「給食だより」「食育だより」の発行	たよりを発行し、児童、保護者への食に関する啓発を実施	発行校の割合 100%	発行校の割合 100%	・各学校、調理場毎に作成。食育の取組、学校給食レシピの紹介などを実施	継続実施	健康教育課
11	生活習慣改善啓発パンフレットの作成・配布	パンフレットを保護者へ配布し、基本的な生活習慣についての啓発を実施	実施	配布数 7,144枚	・パンフレットを保護者へ配布し、基本的な生活習慣についての啓発を実施	継続実施	健康教育課
12	健康手帳(小中学生用)の作成・配布・活用	肥満傾向の子に対し、健康手帳を活用し家庭と連携した指導を行い、小児生活習慣病の減少を目指す	実施	健康手帳 使用者数 2,056人	・肥満傾向の子に対し、健康手帳を活用し家庭と連携した指導を行い、小児生活習慣病の減少を目指す	継続実施	健康教育課
13	わくわく楽しい学校給食作品展	給食に関する児童生徒の作品を展示	実施	応募数 1,237点	・入賞献立は1月の学校給食週間に実施。毎年素晴らしい献立が登場する	継続実施	健康教育課
	●検証指標	【公立保育所等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	100%	100% (19/19)	・園での収穫物によるクッキングや切干大根作り ・災害への備えとして、パッククッキング体験を実施	100%	保育幼稚園課
	●検証指標	【私立保育所等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	87.20%	90.2% (222/246)	・園での栽培、収穫体験や収穫物によるクッキング等	100%	保育幼稚園課
	●検証指標	【公立幼稚園等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	100%	100% (6/6)	・昼食中の指導を通して食べ物の大切さ、作っている方への感謝の気持ち等を学んだ	100%	教育政策課
	●検証指標	【私立幼稚園等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	100%	100% (22/22)	・野菜、米、果物等の栽培、収穫活動、行事食の提供やクッキング活動を実施	100%	健康づくり推進課
	●検証指標	授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合	94.0%	97.0%	・授業参観、懇談会等で保護者へ食育の啓発を実施	100%	健康教育課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	食育に関する情報や研修会の案内等について、加盟園への情報提供及び参加勧奨。	熊本市私立幼稚園・認定こども園協会
2	崇城大学食育月間イベントでの野菜量りとアンケートの実施：6月21日実施 学生475名参加 会員7名従事 ・食の乱れが顕著な大学生を対象に、前日食べた野菜の量を自分でお皿に取り、客観的に評価し野菜不足を確認するイベントを行い、野菜の摂取の必要性を啓発した。	熊本市食生活改善推進員協議会
3	たべラボランチミーティング ・食育を主体的に実施する学部横断的グループ「たべラボ」メンバーを対象に、食生活改善チャレンジや熊本の食の魅力探しワークショップ、10分間調理実習、食育の日メニュー検討等を実施。 ・5月から毎週水曜12:00～12:40、全30回実施。	熊本県立大学

II 健全な食生活を実践するための環境整備

* H29実績値

施策の方向性	(1)健康寿命の延伸に向けた食に関する情報の発信	H30	R1	R5
		基準値	実績値	目標値
検証指標項目	⑦ 企業、大学等での食育に関する講座の開催(件数)【再掲】	* 20件	47件	30件
	⑧ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上 ほぼ毎日食べている市民の割合	76.1%	-	85%
	⑨ 栄養に関する表示等を参考にしている市民の割合	64.0%	-	75%
	⑩ 栄養に関する表示等を参考にしている市民の割合 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践している市民の割合	63.4%	-	80%
取り組むべき施策	9) 「食事バランスガイド」「食育ガイド」等を活用した食生活の実践への支援	34.3%	-	50%
	10) 生活習慣病予防等についての啓発	22.5%	-	25%

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R1の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	出前講座	市及び関係行政機関等の職員が講師として、地域、学校等へ出向き講話や実習等を行う	15回	37回	・食に関する出前講座を地域団体や学校等の要請に応じて実施	継続実施	生涯学習課
2	すこやか食生活改善講習会	小学校区ごとに生活習慣病予防を目的とした献立の普及を図る、講話と調理実習を実施	累計 51,359人	累計 53,097人	・90校区、1,738人受講 ・普段家庭にある食材を使用するバッククッキング(家庭版真空調理)を取り入れて、バランスのとれた献立の普及を実施	60,559人	健康づくり推進課 各区保健子ども課
3	食事バランスガイドの啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、食事バランスガイドの啓発を行い、日本型食生活の定着を図る	実施	啓発数 1,559人	・健康教育や食育実践講座、幼児健診等において、食事バランスガイドの啓発を実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
4	栄養成分表示の啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、栄養成分表示の啓発を行い、健全な食生活の実践のため栄養成分表示の活用を図る	実施	啓発数 8,100人	・幼児健診や講座等においてチラシを用いて栄養成分表示の啓発を実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
5	健康教育(40～64歳)	健康づくりや生活習慣病予防に関する知識の普及と啓発を実施	参加人数 7,520人	9,253人	・糖尿病予防教室、減塩(高血圧予防)教室、ロコモ予防教室等の、病態別の健康教育を実施。参加者は市政だより公募等	継続実施	各区保健子ども課
6	健康相談(40～64歳)	個人の生活習慣や食習慣に応じた、健康づくりや生活習慣病予防、生活習慣病の重症化予防に関する助言・相談を実施	参加人数 4,037人	2,962人	・月2回の健康相談日やイベント時に個別に病態別健康相談を実施	継続実施	各区保健子ども課
7	【再掲I-(2)】 大学生等のための食育実践講座	食生活の乱れが著しい世代に対して、大学等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	43回 2,432人	・尚絅大学、崇城大学の新入生を対象とした食育講座、熊本保健科学大学での食育の啓発や実習生への食育講座 ・市立総合ビジネス専門学校1年生を対象とした食育実践力アップ調理実習の開催(2回) ・第二高校、千原台高校生を対象とした郷土料理講習会の実施	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課
8	【再掲I-(2)】 働きざかり世代のための食育実践講座	メタボリックシンドロームが増加する世代に対して、職域等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	4回 113人	・西区役所に勤務する職員を対象に食育実践講座を実施。働き盛りの食事の注意点について、特に昼食を購入する際、中食の選び方について講話を実施 ・植木温泉観光旅館組合、市職員組合北区支部女性部学習会、植木町商工会女性部へ健康経営を含む食育講座を実施	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	CKD対策 ・CKD栄養指導連携システムでの栄養指導及び会員のスキルアップのための学習会の実施。栄養相談100件、学習会11回	熊本県栄養士会
2	地域での健康支援 ・特定健康診査、後期高齢者健診受診者を対象に、食の安心安全、食事リズムを意識した支援を実施。①特定保健指導(積極的支援及び動機付け支援)98件 ②健康相談・栄養指導6件 職域での健康支援 ・事業所を対象に、体調改善・健康維持を目指し、食事のリズムや内容についてのセミナーや指導を実施。①特定保健指導592件 ②健診事後指導190件 ③セミナーの開催4事業所	熊本県総合保健センター
3	学生対象特定保健指導(PUKPUKダイエットチャレンジ) ・BMI30以上の学生10名程度を対象に、面接などにより管理栄養士が減量をサポート。6～1月に実施。	熊本県立大学

II 健全な食生活を実践するための環境整備

* H29実績値

施策の方向性	(2) 食生活改善をサポートする人材の育成	H30	R1	R5
		基準値	実績値	目標値
検証指標項目	① 食育の推進に関するボランティア数	* 1,536人	1,685人	1,850人
取り組むべき施策	11) 管理栄養士・栄養士、専門調理師等、専門的知識を有する人材の育成と活用の促進 12) 食生活改善推進員等、地域支援者の育成			

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R1の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	栄養士・管理栄養士養成施設実習生受け入れ	公衆栄養の場における、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援	受入数 40人	受入れ数 39人	・県立大学、尚絅大学、中村学園大学等を受け入れ	継続実施	各区保健子ども課
2	栄養教諭養成施設教育実習生受け入れ	実習生が学校給食における課題発見・解決を通して、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援	受入数 43人	受入数 41人	・県立大学、尚絅大学・短期大学からの実習生を受け入れ、現場で実際の調理を体験	継続実施	健康教育課
3	栄養教諭養成施設教育実習生受け入れ	児童・生徒の発育に必要な栄養状態の管理や、学校における食に関する指導に必要な知識・技能を取得することを支援	受入数 7人	受入数 1人	・県立大学、尚絅大学からの実習生を受け入れ、栄養教諭として知識・技能の習得を行う	継続実施	指導課 健康教育課
4	栄養管理、調理師対象の研修会の開催	厚生労働省の指導方針、食中毒予防、最新の栄養情報等について研修を実施	開催数 2回	開催数 2回	・第1回(R1.7.30開催):179人参加 日本食品成分表に関する説明など ・第2回(R2.1.21開催):170人参加 給食施設の衛生管理についてなど	2回	食品保健課
5	食育担当者等研修会の実施	食育推進体制の整備や食育全体計画策定等の研修会を開催	参加者数 202人	参加者数 198人	・食物アレルギーについての実践発表及びグループワークの実施	継続実施	健康教育課
6	栄養教諭・学校栄養職員研修会の実施	授業力向上等の研修会を実施	参加者数 67人	参加者数 66人	・栄養教諭等に必要なコミュニケーション能力について、臨床心理士岡崎氏の講話とグループワークの実施	継続実施	健康教育課
7	地域歯科保健研修会の実施	歯と口腔の健康づくりを総合的に支援する環境の整備に取り組むため、保健関係者等が、一同に会し、連携強化を図る	1回 81人	1回 63人	・R2.2.19に歯周病と全身の健康との関係性をテーマに講演会及び取組発表を含めた研修会を実施	継続実施	健康づくり推進課
8	食生活改善推進員養成講座(すこやかくまもと栄養セミナー)	食を通じた健康づくりのボランティア「食生活改善推進員」の養成	養成数 72人	養成数 49人	・5区役所で計6回、20時間のセミナーを開催 受講者数52人、修了者数49人	100人 (20人×5区)	健康づくり推進課 各区保健子ども課
9	食生活改善推進員研修会	ボランティア活動に生かすための知識と技術を習得	53回 2,001人	55回 2,110人	・食品衛生についての全体研修会、新人研修会、キャリアアップ研修会、すこやか食生活改善講習会のための研修会(調理実習含む)等を、全市及び各区で実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
10	食生活改善推進員活動支援	推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行う	年間 4,454人	年間 4,550人	・会のスムーズな運営のため、毎月の理事会や例会等での助言や、電話や面接による相談に対応	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
11	8020推進員育成講座	8020運動を推進する市民ボランティアの育成	養成数 79人	養成数 74人	・5区役所で計4回、9時間の養成講座を開催 受講者数87人、修了者数79人	100人 (20人×5区)	健康づくり推進課 各区保健子ども課
	●検証指標	食育の推進に関するボランティア数	1,536人	1,685人	・食生活改善推進員 620人 (R元年度食生活改善推進員協議会会員数) ・8020推進員 1065人 (8020推進員養成講座修了者の累計)	1,850人	健康づくり推進課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	保育士会・給食部会合同研修会 ・保育の中での食育を実践できるよう、「心を育て・癒す食育 保育者による、総合保育の中心に食育を据える」と題し、聖徳大学 室田洋子氏による講演会を開催した。72名の保育所職員が参加し、食育は子どもだけではなく、心を育て、人間関係の構築や人格形成にもつながる大事なものであることを学んだ。	熊本市保育園連盟
2	尚絅学食レシピコンテスト ・テーマ「尚絅ガールズさかなレシピコンテスト」 魚を使ったオリジナル料理(主食又は主菜)+1品(サラダ、スープ等)、材料費1人250円、調理時間60分以内で募集。 ・学生応募総数229点(募集期間8～10月上旬)、一次、二次、最終審査を経て、優秀作品5品を学食で提供。(11月～12月に5回提供)	尚絅大学・尚絅大学短期大学部

II 健全な食生活を実践するための環境整備

施策の方向性	(3)食品関連事業者等と連携した食育の推進	H30	R1	R5
		基準値	実績値	目標値
検証指標項目	⑫ 「健康づくりできます店」の登録数	217店舗	218店舗	250店舗
取り組むべき施策	13) 飲食店や食品販売店におけるヘルシーメニューの提供促進			
	14) 食品工場見学等、体験を通じた食育の推進			
	15) 事業者等に対する食育の普及啓発の促進			
	16) 事業者から発信する食育			

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R1の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	食品関連事業者等が実施する食育活動支援事業	市民が食育を実践しやすい環境を整備するため、食品関連事業者等が実施する食育活動に必要な技術的支援等を行う	実施	支援業者数 10件	・市民の野菜摂取拡大のための、食品関連事業者等へ、レシピ、ポスター等の提供、野菜摂取拡大のための啓発チラシの提供等を実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
2	食品関連事業者向け研修会の開催	食品関連事業者が、食育を推進するための情報や知識を得るための研修会の開催	実施なし	1回 103人	・熊本県立大学環境共生学部准教授友寄博子氏による講演会の開催 演題:「栄養成分表示を正しく理解し、健康づくりに生かすために！」	実施	健康づくり推進課
3	【再掲Ⅱ-(1)】 栄養成分表示の啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、栄養成分表示の啓発を行い、健全な食生活の実践のため栄養成分表示の活用を図る	実施	啓発数 8,100人	・幼児健診や講座等においてチラシを用いて栄養成分表示の啓発を実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
4	栄養に関する表示実施支援	栄養に関する表示支援事業を実施する食品関連事業者等に対して技術的支援を行う	実施	実施	・食品関連事業者からの問い合わせに対し、随時、技術的支援を実施(食品保健課)	継続実施	食品保健課 健康づくり推進課 各区保健子ども課
	●検証指標	「健康づくりできます店」の登録数	217店舗	218店舗	・健康サポートメニュー、地産地消、禁煙の推進(施設内完全禁煙)の3項目の一つで登録	250店舗	健康づくり推進課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	尚綱食育の日 お魚の日 : 6月19日実施 ・天草地区漁業士会と連携した食育イベント ・真鯛とアオサを使った天井とアオサ汁の提供、くまモン隊の協力による熊本県水産物のよさを再発見するイベント、天草の魚や漁業士会の活動をPRするポスター等の掲示、尚綱食育センター活動報告等を実施。	尚綱大学・尚綱大学短期大学部
2	市場見学会 ・食育の一環として、また田崎市場に対する理解を深めてもらうため、市場見学を受け入れている。年間13団体、465名受入れ。	(株)熊本地方卸売市場

Ⅲ 市民運動としての食育の展開

施策の方向性	(1)市民協働による食育運動の展開	H30	R1	R5
		基準値	実績値	目標値
検証指標項目	① 食育に関心がある市民の割合【再掲】	77.1%	-	90%
取り組むべき施策	17) 食育に関する機運の醸成			
	18) 関係団体と連携した食育運動の展開			

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R1の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	食育月間等における啓発	6月の「食育月間」や毎月19日の「食育の日」にパネル展示等を行い、広く市民に食育を周知し機運の醸成を図る	実施	実施	・ラジオやSNS等を利用した、食育の市民への周知と啓発 ・市、県、九州農政局と食育月間啓発のための該当キャンペーンの実施。食改、尚綱大学学生も協力 ・県立大学、崇城大学、熊本保健科学大学で学生を対象にイベントの開催 ・ウエルパル、市役所、各区役所でパネル展示や資料、レシピの配付を実施 ・図書館と連携し、食育月間等に特設コーナーの設置	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
2	熊本市民健康フェスティバル	食育に関する情報提供や啓発活動を実施	来場者数 9,359人	ブース 来場者数 834人	・災害に備えよう！「食と歯・口の健康づくり」コーナーで、家庭での食料備蓄についての啓発や栄養成分表示についての啓発を実施	継続実施	健康づくり推進課
3	農産物フェア	農畜産物の展示即売及び生産者と消費者の触れ合いの場を創出	実施	実施	・生産者や食品関連事業者、農業団体等と連携し、9/28～9/29熊本駅前、11/3～11/4フードパルにて農産物フェアを開催。来場者数34,771名	継続実施	農水ブランド戦略室 各農業進振興課
4	ホームページ「くまもとの食」での情報提供	食の安全安心と食育についての情報提供	HPアクセス数 97,299人	HPアクセス数 93,859人	・食の安全安心の情報として、食品の回収情報や各種通知、食育の情報として、おいしいヘルシーレシピ、郷土料理等のレシピ掲載、離乳食についての進め方やレシピ等を掲載し、市民へ情報提供を実施	増加	食品保健課 健康づくり推進課
5	食育に関する全市的広報	市政だより、ラジオ等を使った市民への啓発	7回	34回	・食育月間や食育実践講座等の食育情報をホームページやラジオ、ライン等で啓発	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
6	イベント時に、若い世代への健康に関する啓発	若い世代に、食育、歯科、ライフプラン、がん検診、性感染症等について啓発	実施	啓発数 458人	・からだの学校に参加した親子を対象にHIVを中心とした性感染症について啓発 ・大原学園「歯たちの健診」、尚綱大学「健康セミナー」等でのがん検診受診等の啓発	継続実施	健康づくり推進課 感染症対策課
7	食育に関する消費者セミナーの実施	市民対象にした食育に関する啓発	実施	参加者数 113人	・8/1親子で学ぶ食育セミナー開催。参加者35人 ・10/3消費者講演会の開催。テーマ「食べてつながる命育つ心」参加者77人	継続実施	生活安全課 消費者センター
8	【再掲Ⅱ-(2)】食生活改善推進員活動支援	推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行う	年間 4,454人	年間 4,550人	・会のスムーズな運営のため、毎月の理事会や例会等での助言や、電話や面接による相談に対応	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
9	食生活改善推進員地区組織活動	食生活改善推進員が、地域で食を通じたボランティア活動を実施	活動件数 45,049件	活動件数 42,838件	・活動件数の内訳 ①子どもの健康・食生活9,044件 ②若者・働き世代の健康・食生活6,216件 ③高齢者の健康・食生活11,967件 ④その他15,611件	増加	健康づくり推進課 各区保健子ども課
10	8020推進員地域活動支援事業	8020推進員による地域ボランティア活動の実施	支援件数 969件	支援件数 892件	・8020推進員に口腔の健康や機能向上についての資料提供及びアドバイスを行い、地域活動の支援を実施	増加	健康づくり推進課 各区保健子ども課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	地域での様々な健康イベントでの栄養・食事相談の実施：栄養・食事相談件数 351件、従事会員 延べ40名 ・熊本市民健康フェスティバル、健軍医商事業「健康フェア」、秋津レークタウンいきいき健康フェスティバル、北部フェスタ、はあもにいフェスタ2019、いきいき未来のつどい等に参加	熊本県栄養士会
2	歯の祭典：6月9日開催、3つのコーナーに計1,790名来場 ・歯科医師会、歯科衛生士会の共催。一生おいしく安全な食生活を営むためには、歯と口の健康づくりからを目的に、歯科衛生士会コーナー、お口の介護予防コーナーで普及啓発活動を実施。災害時の口腔ケアコーナーにおいて、口腔清掃の方法を実践指導。	熊本市歯科医師会 熊本県歯科衛生士会
3	わんぱくまつり：子どもや保護者の食への関心を高めるため実施 実施内容 ・保育園での食育の取組についてのパネル展示(食マナー・栽培活動・熊本市の保育園給食・保育園での食育活動・口から見た乳幼児の発達・歯からみる食生活) ・紙バックで野菜を作ろう ・箸置きづくり ・食材総合合わせゲーム(魚・野菜) ・食育絵本コーナー	熊本市保育園連盟

Ⅲ 市民運動としての食育の展開

* H29年実績値

施策の方向性	(2)食育支援団体のネットワークの整備	H30	R1	R5
		基準値	実績値	目標値
検証指標 項目	⑬ 「熊本市子どもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合	* 62.6%	保育所等52.4% 支援団体80.0%	70%
取り組むべき施策	19) 関係団体とのネットワーク体制の整備と情報の一元化			

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R1の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	健康くまもと21推進会議、食の安全安心・食育部会の開催	食の安全安心・食育推進計画の進捗状況を報告するとともに、市民意見を計画に反映する	開催数 4回	開催数 2回	・食の安全安心・食育部会1回(R1.8.21実施) ・健康くまもと21推進会議1回(R1.11.29実施)	2回	健康づくり推進課 食品保健課 関係各課
2	熊本市子どもの食育推進ネットワーク	子どもの食育を推進するため、関係機関によるネットワークを構築し、連携を図りながら食育推進運動を展開	加入団体数 394団体	加入団体数 400団体	・保育園、認定こども園、幼稚園、子育て支援センター及び地域支援者である、食生活改善推進員、民生委員・児童委員、栄養士会等の団体で形成 ・認可外保育施設への加入を勧奨	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
3	熊本市子どもの食育推進ネットワーク全体研修会	ネットワークメンバーの情報交換と資質向上のための研修会を開催	参加者数 181人	コロナのため中止	・中央区エリアの食育活動報告と小学校栄養教諭講話「小学校給食の現状について」を予定していたが中止	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
4	熊本市子どもの食育推進ネットワーク地域研修会	区毎に、地域での食育活動の活発化のため、メンバーの連携強化と、情報交換、資質向上のための研修会を開催	参加者数 626人	24回 538人	中央区:3つのグループに分かれて活動。「朝ごはんを食べよう!」をテーマに活動を実施 東区:アレルギー対応ガイドラインについての講話、事例紹介等を実施 西区:「情報の共有化と食育媒体作成」をテーマに3回開催。事例発表、媒体作成、活動報告を実施 南区:講話2題と離乳食の試食、グループワークを実施。「行事に使用する給食やおやつレシピ」を事前募集し、集まったレシピを参加者に配布するとともに、南区ホームページにも掲載し広く市民へ啓発 北区:地域メンバーのニーズ把握により、朝食レシピを作成	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
	●検証指標	「熊本市子どもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合	62.6%	保育所等施設 52.4% 支援団体 80.0%	・保育所等が、食育の推進に関して、地域や団体等の多様な関係者との連携及び協働で食育活動を実施している割合は52.4%	70%	健康づくり推進課 各区保健子ども課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	熊本市子どもの食育推進ネットワーク ・各エリアでの研修会や活動への参加。代表者会議、実務者会議に出席。	尚絅大学・尚絅大学短期大学部 熊本県栄養士会 熊本市私立幼稚園・認定こども園協会 熊本市保育園連盟 熊本市食生活改善推進員協議会 熊本市民生委員児童委員協議会

Ⅲ 市民運動としての食育の展開

* H29年実績値

施策の方向性	(3)地域における食育の推進		H30	R1	R5	
			基準値	実績値	目標値	
検証指標 項目	④	体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【保育所等】	公立	* 100%	100%	100%
			私立	* 87.2%	90.2%	
	⑤	体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【幼稚園等】	公立	* 100%	100%	100%
			私立	* 100%	100%	
⑭	住民主体の通いの場(高齢者健康サロン等の数)	711箇所	818箇所	776箇所		
取り組むべき施策	20) 世帯構造や生活の多様性をふまえた食育					

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R1の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	介護予防事業	【短期集中予防サービス】 栄養状態、運動及び口腔機能低下者を早期に発見し、悪化防止のための指導を実施	R1.10より 実施予定	実施件数 12回	・低栄養や虚弱の恐れがある高齢者に対し、県栄養士会受託事業所による訪問での栄養指導を実施	継続実施	高齢福祉課 各区福祉課
2	子ども食堂への支援	子ども食堂の開設及び運営に対する助成を実施することで、子どもたちの居場所づくり等を支援	新規	29か所で実施 開催数は未把握	・運営や開設にかかる費用を助成。また、企業や市民の方からの、食材等の寄付の繋ぎを実施	継続実施	子ども政策課
3	保育園児と地域住民との交流会	団子汁会や芋煮会など郷土食の継承とともに、食を通じた繋がり場を作る	実施	実施	・もちつき、だご汁会等の実施(公立) ・デイサービスを訪問し、クッキングを通じた交流会を実施 ・食生活改善推進員を講師としたクッキング体験等を実施	継続実施	保育幼稚園課
4	幼児期の共食の重要性の啓発	1歳6か月児健康診査等において、共食についての啓発資料の配布	R1.10より 実施予定	啓発数 1,660人	・3歳児健康診査受診前質問票から、共食と朝食の摂取状況、共食と好き嫌いとの関係性について示した資料を作成し共食の重要性について啓発を実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
5	子どもだけで食事することが「ほとんどない」家庭の増加	3歳児健康診査受診前質問票で、「ほとんどない」との回答者を増加	85.2%	85.4%	・区毎の割合 中央84.5、東87.6、西86.1、南85.0、北82.6	88.0%	健康づくり推進課 各区保健子ども課
	●検証指標	住民主体の通いの場(高齢者健康サロン等の数)	711箇所	818箇所	・ささえりあ、市社協、各区福祉課と連携し、高齢者サロン、くまもと元気くらぶや地域支え合い型通所サービス等の立ち上げ支援を実施	776箇所	高齢福祉課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	子ども食堂支援 ・組合員女性部の畑3か所で春と秋に8種の野菜を栽培し子ども食堂へ提供した。春野菜を2か所に2回、秋野菜を5か所に計9回贈呈。今後、もっと多くの食堂への支援を実施したい。	熊本市農業協同組合
2	児童福祉施設等への慰問活動 ・会員が児童福祉施設を訪問し、園児達に料理を振る舞い、併せて好き嫌いをしないことや、命をいただくことに感謝する気落ちを持つことなどを話し、食育を行った。	全日本司厨士協会熊本支部 日本中国料理協会熊本県支部

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

施策の方向性	(1)生産者と消費者の交流促進	H30	R1	R5
		基準値	実績値	目標値
検証指標項目	⑮ 農林漁業体験を経験した市民の割合	32.5%	-	50%
取り組むべき施策	21) 生産者と消費者の交流会の開催			
	22) 農林漁業体験を通じた食育活動の推進			

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R1の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	生産者との給食交流会	給食物資の生産者と児童・生徒との交流と会食を実施し、食育の推進を図る	実施	開催数 9回	・熊本市学校給食会を通して、農産物生産者を紹介してもらい、学校毎に交流会、会食を実施	継続実施	健康教育課
2	食農体験事業	収穫、調理など体験型の事業展開を通して、食と農の理解促進を図る	実施	実施	・11/28シェフと小学生による生産現場の見学(みかん、なす、のり)、調理体験(参加者41名)を実施 ・1/25メルパルクにて地産地消をテーマにシンポジウムを開催(参加者100名)、取組内容を広報誌で紹介	継続実施	農水ブランド戦略室
3	すこやか交流広場管理運営事業	子ども農園の貸付や植え付け祭、収穫祭等のイベントを開催し、世代間交流を促進	農園利用率 76%	農園利用率 76%	・子どもふれあい農園や多目的広場の貸付及びすこやか管理広場の管理業務	100%	健康福祉政策課
4	学校農園等での栽培活動	学校農園、休耕田、プランター等を活用し、栽培、収穫等を体験する	実施率 100%	実施率 100%	・各学校の実態に応じて農業体験や栽培活動、緑化活動等の推進	100%	指導課
5	市民(小学生等)と水産業との交流促進	市民と漁業者との交流を通じ、水産業の紹介、漁業体験活動等を推進	参加者数 75人	参加者数 78人	・市内小学校児童を本市地先漁場に招き、採貝及び干潟体験を実施した	継続実施	水産振興センター

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	アグリキッズスクール : 年9回実施 JA熊本市管内の小学2~6年生 59名参加 ・専用圃場でのとうもろこしの定植から収穫体験 ・ビニルハウスでの野菜の収穫体験、田植え、稲刈り体験 ・熊本農業高校との体験学習等	熊本市農業協同組合
2	田崎市場感謝祭 : 12月1日開催、約5万人来場 ・市場内を開放し、水産物や青果物を消費者に直接販売。	㈱熊本地方卸売市場

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

* H29年実績値

施策の方向性	(2) 地産地消の促進	H30	R1	R5
		基準値	実績値	目標値
検証指標項目	⑯ 進んで地元農産物を購入する市民の割合	73.8%	-	80%
	⑰ 市内における農産物直売所の販売額	* 2,936百万円	* 2,962百万円	3,339百万円
	⑱ 学校給食における地元農産物の使用割合	* 38.2%	43%	43%
取り組むべき施策	23) 「くまもとらしさ」を活かした地産地消の推進			
	24) 学校給食や飲食店等への地元産物のPRと活用促進			

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R1の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	「ひご野菜」の認知度向上及び普及拡大	熊本に因むストーリーが展開できる野菜を掘り起こし、観光と連携した地産地消の展開を図る	啓発活動の実施	実施	・民間団体や学校等で、ひご野菜をテーマに食育活動を行う際に、チラシを提供。取材希望に対し生産者を紹介(随時)	継続実施	農水ブランド戦略室
2	農産物直売所支援	直売所で組織する「熊本市農産物直売所連絡協議会」の活動を通じ、周年栽培の取組や合同販売会等の実施により、直売所間のネットワーク強化や販売促進を図る	直売所数 17箇所	直売所数 21箇所	・くまもと農業フェア、駅前カレーフェスタ、くまもと産品魅力発信フェア、熊本城マラソン、水産物フェア等にて直販所による販売会を実施 ・市政だよりにより市の物産館の特集記事を掲載	増加	農水ブランド戦略室
3	SNSを活用した熊本市農水産物のPR	農水局フェイスブックや市ツイッターを活用し、熊本市の農水産物について情報を発信	実施	閲覧数 320,339回	・農水局フェイスブック等のSNSに、写真・動画を含む農水産業及び農水産物に関する記事を掲載	継続実施	農業政策課
4	栄養教諭等の生産地視察	学校給食使用農産物の生産地を視察し、食育に活用	実施	開催数 8回	・ピーマン、西瓜、なす、チンゲンサイ、小松菜、セリ、一文字、スイートスプリングの視察を実施。資料を作成し、給食の時間に指導	継続実施	健康教育課
5	●検証指標 給食における地元産物の利用と地産地消の推進	保育所給食は、可能な限り、熊本市産、県内産、九州産、国内産の食材を使用	実施	実施	(公立) ・給食物資契約時には、地産地消の観点から物資選定を実施	継続実施	保育幼稚園課
6		毎月19日「ひごまるデー」とし市産品の献立を実施。児童、生徒指導のための資料集を作成し、全校に配付	市産品率 38.2% (H30実績 39.2%)	市産品率 40.7%	・食育の日「ひごまるデー」という名称で設定し、熊本市産品を活用した献立を実施。子どもたちに地域理解を図る	43%	健康教育課
	●検証指標	市内における農産物直売所の販売額	2,936百万 (H30実績 2,944百万)	2,962百万	・市内の農産物直販所に対して、出店可能なイベントの案内や各種支援情報の提供を実施	3,339百万	農水ブランド戦略室

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	小中学校、福祉施設等へ、熊本市産焼海苔を提供し、海苔のPRを実施。小学校3校に2,680枚を配付した。	熊本市漁業後継者クラブ 熊本県漁業協同組合連合会
2	毎月1回の食育の日に、熊本県の食材を使い、学生が考えたメニューを学食で提供。4月～7月、10月～1月の8か月間で計1,121食を販売。	熊本県立大学

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

施策の方向性		(3)くまもとの食文化の伝承	H30 基準値	R1 実績値	R5 目標値
検証指標 項目	⑱	家庭での食事に郷土料理等を取り入れている市民の割合	69.9%	-	80%
取り組むべき 施策	25) 伝統料理や郷土料理等に関する情報提供の推進 26) 関係団体との連携による食文化伝承に関わる活動の促進				

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R1の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	郷土料理の食のホームページ掲載	郷土料理、祭事料理をホームページ「くまもとの食」に掲載し発信	実施	実施	・現在10種の郷土料理を食のホームページに掲載している	継続実施	健康づくり推進課
2	郷土料理を掲載した給食レシピ集の発行	郷土料理も含めた学校給食レシピ集を作成し、学校に配布。親子料理教室等での活用や家庭啓発を実施	実施	実施	・熊本市栄養教諭、学校栄養職員研究協議会の協力のもと、学校給食レシピ集第1～4集を作成済み。食育だよりに掲載する他、親子料理教室等で活用している	継続実施	健康教育課
3	給食における郷土料理の実施と啓発活動	学校給食において、食文化の伝承及び啓発を目的に、月1回給食献立に郷土料理を導入	実施小中学校 100%	実施小中学校 100%	・家庭での提供が少なくなった味噌汁を週1回献立に設定。月1回「味の旅」を設定し、地域の郷土料理等を紹介している。R1はオリンピック出場者の郷土の味を実施	100%	健康教育課
4		豆だご等の郷土料理を給食献立に取り入れ、広く保育所等へ発信すると共に、食育だより等に掲載し家庭へも情報提供を行う	実施	実施	・郷土料理や年中行事について、毎月に行事食として提供	継続実施	保育幼稚園課
5	【再掲Ⅲ-(3)】 保育園児と地域住民との交流会	地域住民との交流会で、団子汁会や芋煮会を行い、郷土食を伝承	実施	実施	・もちつき、だご汁会等の実施(公立) ・デイサービスを訪問し、クッキングを通じた交流会を実施 ・食生活改善推進員を講師としたクッキング体験等	継続実施	保育幼稚園課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	郷土料理講習会 ・県立第二高校、市立千原台高校での食文化伝承のための郷土料理調理実習の実施。14クラス557名参加。	熊本市食生活改善推進員協議会
2	四條中納言山蔭嫡流九州支部保存会庖丁式の実施：5月、10月、11月 地域の神社の大祭に於いて実施。 ※平安時代から始まると伝えられる日本料理の流派。「庖丁式」とは料理に関する作法・故実や調理法などを最も頻用する調理器具の包丁で象徴した呼び名。庖丁と真魚箸(まなばし)のみを用いて、鯛などの素材に一切手を触れることなくさばっていくもので、各地の神事などで奉納される。	日本調理士協和庖真会

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

施策の方向性	(4) 食の循環や環境を意識した食育の推進	H30	R1	R5
		基準値	実績値	目標値
検証指標項目	⑳ ごみを少なくするため「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう心がけている市民の割合	74.6%	-	85%
	若い世代【20,30歳代】	68.5%	-	75%
	㉑ 熊本市の良質な水がおいしさの基になっていると思う市民の割合	80.7%	-	85%
	㉒ 「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店の登録数	72店舗	86店舗	200店舗
取り組むべき施策	27) 食育を通じた環境保全			
	28) 環境保全体験を通じた食育活動の推進			

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R1の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	環境にやさしい店の推進	ごみ減量リサイクルの推進に積極的に取り組む小売店を環境にやさしい店「よかエコショップ」と認定し広報	認定店舗数 149店舗	認定店舗数 149店舗	・環境にやさしい店「よかエコショップ」の認定店舗数を増やすとともに、市民への広報・啓発を行いグリーンコンシューマーを育成	増加	環境政策課 (温暖化・エネルギー対策室)
2	水質監視	地下水等に関する水質監視	監視率 100%	監視率 100%	・水質汚濁防止法に基づき、地下水の水質の常時監視を実施	100%	水保全課
3	広域水保全対策	農業体験や交流ツアー、森林ボランティア活動等を通じ、地下水かん養域と地域との交流や連携を深め、熊本地域の地下水を保全する	参加人数 (台風のため中止)	参加人数 115人	・地下水かん養域の水田や水路を利用したイベント「田んぼの学校」を通じ、熊本のおいしい地下水と農業の関りなどを学ぶ機会を設けた	200人	水保全課
4	小学校への副読本の配布	小学4年生へ、社会科副読本として、ごみ事情をやさしく解説した「ごみとリサイクル」を作成し、配布	配布数 7,500人	配布数 7,500人	・R1年度も小学4年生へ、社会科副読本として、ごみ事情をやさしく解説した「ごみとリサイクル」を作成し、7,500人に配布	7,000人	ごみ減量推進課
5	生ごみ減量対策	「生ごみにしない」、「出ってしまった生ごみをいかに減量するか」に重点をおき、生ごみ減量に取り組む (評価指数:新たに生ごみ減量化に取り組んだ人数)	1,220人	1,247人	・生ごみ減量対策として、エコレシピチャレンジ講座897人、段ボールコンポスト講座178人参加 ・生ごみ処理機、生ごみ堆肥化容器の助成金を172人に交付	1,200人	ごみ減量推進課
6	環境保全に関する市民啓発	環境保全に関する学習会を開催し、市民啓発を行う	参加人数 3,590人	参加人数 3,485人 (103回)	・生物多様性から環境を考えるフィールド学習会や、小学生を対象とした環境科学教室などを開催 ・資源や環境保全の大切さを伝える、講話やエコ工作を出前講座として実施	増加	環境総合センター
7	環境にやさしい農業の推進	エコファーマ、有作くん等、環境にやさしい農家の戸数	経営体数 1,625	経営体数 1,365	・エコファーマ、有作くん等、環境にやさしい農家の戸数	2,090	農業支援課
	●検証指標	「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店の登録数	72店舗	86店舗	・H30年度末の時点で84店舗。R1年度も「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店を募集し、新たに2店舗を登録	200店舗	ごみ減量推進課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	エコレシピチャレンジ講座 ・家庭からの生ごみ減量を目指し開発されたレシピの調理実習とイベントでのエコレシピックキーの配付を行い、生ごみの減量について啓発を実施。調理実習37回897名参加。イベント7回1,333名にエコレシピックキーの配付。	熊本市食生活改善推進員協議会
2	農林水産省「地域での食育推進事業」の一環として、料理研究家 藤野真紀子氏の食育教室を実施。キッチンから始める食品ロス対策、エネルギーの節約術、おいしく保存して食べきる術等を学んだ。今の暮らしのスタイルを見直し、一人一人の取組が「個人」としてだけでなく、社会全体の省エネに役立つことを学習した。	常盤学園シェフパティシエ学院

「食育の推進」:関係団体・機関における取組一覧

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践		II 健全な食生活を実践するための環境整備		III 市民運動としての食育の展開		IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進	
I-(1)家庭における食育の推進		II-(1)健康寿命の延伸に向けた食に関する情報の発信		III-(1)市民協働による食育運動の展開		IV-(1)生産者と消費者の交流促進	
熊本県歯科衛生士会	子ども文化会館歯科健康講座	熊本県栄養士会	CKD栄養指導連携システム及び学習会	熊本県栄養士会	地域のフェスティバル等での市民啓発事業	熊本市農業協同組合	あぐりキッズスクール
熊本市PTA協議会	創立70周年記念研究大会での食育講演会	熊本県総合保健センター	地域での健康支援(特定保健指導、栄養指導等)	熊本県栄養士会	健軍医商事業「健康フェア」栄養・食事相談	尚綱大学・尚綱大学短期大学部	水産加工工場見学と意見交換
食生活改善推進員協議会	おやこの食育教室	熊本県総合保健センター	職域での健康支援(特定保健指導、セミナー等)	熊本県栄養士会	熊本市民健康フェスティバル栄養・食事相談	尚綱大学・尚綱大学短期大学部	みかんの収穫体験とセミナー受講
食生活改善推進員協議会	子育てサークルでのおやつについてのお話	食生活改善推進員協議会	牛乳飲用消費拡大事業	熊本県歯科衛生士会	「歯の祭典」歯科医師会との共催	日本中国料理協会熊本県支部	焼売作り体験教室(技能フェア)
食生活改善推進員協議会	男性のための料理教室	食生活改善推進員協議会	生涯骨太クッキング	熊本県歯科衛生士会	いきいき未来のつどい	日本中国料理協会熊本県支部	田崎市場感謝祭での炒飯、包子の販売
民生委員児童委員協議会	子育てサークル開催時に情報提供	食生活改善推進員協議会	働き盛り世代スキルアップ事業	熊本県歯科衛生士会	熊本市民健康フェスティバル	㈱熊本地方卸売市場	田崎市場感謝祭 水産物、青果物を直接販売
民生委員児童委員協議会	赤ちゃん訪問時に情報提供	食生活改善推進員協議会	すこやか食生活改善講習会	熊本市保育園連盟	わんぱくまつり		
		熊本県立大学	学生対象特定保健指導	熊本市歯科医師会	歯の祭典		
				熊本市歯科医師会	熊本市民健康フェスティバル		
				食生活改善推進員協議会	川口小元気フェスタ	IV-(2)地産地消の促進	
I-(2)生涯にわたる食育の推進		II-(2)食生活改善をサポートする人材の育成		食生活改善推進員協議会	熊本市民健康フェスティバル	熊本市農産物直売所連絡協議会 会員、生産者が販売会を実施	
熊本市農業協同組合	体験出前授業(水稻授業)	熊本市保育園連盟	保育フェスタ	熊本市立大学	食育に関する図書館展示	熊本市農業協同組合	肥後野菜の栽培から収穫、学校給食での試食
熊本県歯科衛生士会	小学校歯磨き巡回指導	熊本市保育園連盟	保育士会・給食部会合同研修会	熊本県立大学	食育・健康フェスティバル	熊本市漁業後継者クラブ	小中学校等に熊本市産焼海苔の提供とPR
熊本県歯科衛生士会	高齢者健口講座	食生活改善推進員協議会	食生活改善推進員研修会の受講	尚綱大学・尚綱大学短期大学部	食育月間県下一斉街頭キャンペーンへの協力	熊本県立大学	熊本県の食材を使用した学食メニューの提供
熊本市PTA協議会	単位PTAでの食育に関する研修会や映画上映	熊本県立大学	大学の食育の取組について食育学会で口頭発表	尚綱大学・尚綱大学短期大学部	すぎなみフェスタ展示及び体験型食育活動	熊本県調理師会	地元の食材を使つての料理勉強会
熊本市PTA協議会	学校給食に関する各種会議への参加及び報道	熊本県立大学	くまもと食育ガイドブックを使用した講義	尚綱大学・尚綱大学短期大学部	朝ごはんフォーラム	㈱熊本地方卸売市場	田崎市場感謝祭 イベントで地産地消を啓発
私立幼稚園・認定こども園協会	食育に関する情報や研修会等の周知と参加	尚綱大学・尚綱大学短期大学部	尚綱学食レシピコンテスト	尚綱大学・尚綱大学短期大学部	尚綱学食シンポジウム	熊本県漁業協同組合連合会	小中学校等に熊本市産焼海苔の提供とPR
熊本市歯科医師会	歯たちの健診	尚綱大学・尚綱大学短期大学部	東海大学九州キャンパスとのお弁当プロジェクト	III-(2)食育支援団体のネットワークの整備		IV-(3)くまもとの食文化の伝承	
熊本市歯科医師会	歯磨き巡回指導	常盤学園シェフパティシエ学院	食育リーダー養成講座の受講	熊本県栄養士会	熊本市子どもの食育推進ネットワーク	食生活改善推進員協議会 郷土料理講習会(第二高校、千原台高校)	
食生活改善推進員協議会	崇城大学イベントでの野菜量り	II-(3)食品関連事業者等と連携した食育の推進		私立幼稚園・認定こども園協会	熊本市子どもの食育推進ネットワーク	尚綱大学・尚綱大学短期大学部 郷土料理教室(南関町の郷土料理)	
食生活改善推進員協議会	歯たちの健診での食育啓発	尚綱大学・尚綱大学短期大学部	尚綱食育の日 お魚の日	熊本市保育園連盟	熊本市子どもの食育推進ネットワーク	日本調理士協和庖真会 保存会による包丁式 鯛奉納	
食生活改善推進員協議会	高齢世代スキルアップ事業	尚綱大学・尚綱大学短期大学部	企業とコラボしたメニュー開発と販売	食生活改善推進員協議会	熊本市子どもの食育推進ネットワーク		
熊本県立大学	たべらボランチミーティング	㈱熊本地方卸売市場	市場見学会	民生委員児童委員協議会	熊本市子どもの食育推進ネットワーク		
熊本県立大学	学食における食育メニュー提供事業			尚綱大学・尚綱大学短期大学部	尚綱学食シンポジウム		
熊本市8020健康づくりの会	各世代への歯と口の健康づくり啓発			III-(3)地域における食育の展開		IV-(4)食の循環や環境を意識した食育の推進	
				熊本市農業協同組合	子ども食堂へ部員の畑で栽培した野菜の提供	食生活改善推進員協議会 エコレシピチャレンジ講座	
				熊本県栄養士会	介護予防短期集中予防サービス訪問栄養指導	常盤学園シェフパティシエ学院 エコクッキング講座の受講	
				熊本県栄養士会	母子福祉支援活動「クリスマス親子料理」	V 食育を通じた食の安全安心の確保(共通)	
				熊本県立大学	鶴屋保育園給食改善事業	V-(1)災害に備える食を含めた、食の安全性や栄養等に関する理解の促進	
				熊本県立大学	食育講演活動	食生活改善推進員協議会	パッククッキング地域講習会・体験会
				全日本司厨士協会熊本支部	水前寺保育園への食育訪問	食生活改善推進員協議会	地域における災害復興支援活動事業
				日本中国料理協会熊本県支部	施設慰問(中国料理のフルコースの振る舞い)	熊本県立大学	学生を対象とした食生活調査